

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聞き取り結果

(令和7年9月3日実施)

図書名等	聴き取り内容
1 CHOCOLAT COMICS オメガ女王蜂 令和7年7月31日発行	<p>性器の修整が甘いところがあり、性描写もあり、指定該当やむなし。</p> <p>薬が多く登場し、登場人物の設定も反社会的勢力。印象は悪い。描写も表現もゆるいと思われる。ただ、作品としてのストーリーは面白い。指定該当やむなし。</p> <p>三角関係のBLで、愛する人と結ばれたいという人間としての当たり前の感情を描いている話。人格否定のシーンも無いわけではないが、それはおかしいという事もしっかりと描かれているのでストーリーとしては問題ないと思う。それでも、性器描写については消し方が甘すぎる印象であり、指定該当やむなし。</p> <p>オメガバースもののBL。性交シーンは画角や吹き出しなどで何とかしようとしている場面もあるが、要所要所で出てくる性器がとてもリアルで描写処理をしているとは言い難い。薬、拘束など気になる場面も散見され、指定該当やむなし。</p> <p>3人の登場人物が織りなすBL漫画。ストーリー展開は軽快で読みやすく、絵も綺麗。しかし、物語終盤での薬品を使用した集団レイプ行為への流れは、未遂とはいえる容認できない。そして、全編においての性器の消しの甘さが著しい。到底青年レベルを超えてるので、指定該当やむなし。</p> <p>性器の修整が白く細い線のみで、修整の無いところもある。性描写は多いとは言えない。拘束や薬物もあるが、人格否定については、肯定しているとまでは言えない。指定該当やむなし。</p> <p>全編大部分ではないと思うが性器の形状が分かるレベルで描写されており、体液や擬音も相まって、性的感情を刺激すると判断せざるを得ない。子どもを産めないオメガが差別されるくだりがある一方、産めなくとも価値があるというストーリー展開は社会性のあるテーマでそのメッセージは青少年にとって重要だと思うが、結局ラストではらめと強く言う描写もありやや矛盾していると思う。この点は残念。指定該当やむなし。</p> <p>残念ながら、性器描写という、その一点のみで指定該当と判断せざるを得ない。ほぼ修整していないに等しい。性行為描写の量も多い。また、一部、薬物の使用（架空の設定だが）もある。一生懸命ストーリーを作ろうとしている姿勢は評価したいが、成年向け、区分陳列が妥当と考える。指定該当やむなし。</p> <p>男性器の描写で、形状がはっきりと分かるシーンが複数あるため、指定該当やむなし。</p> <p>性器の消しが少なく、薬物や金、強制等の内容が描かれ、S F的設定だが、暴力団を想起させる。残虐性もあり、人格否定もあるため、指定該当やむなし。</p> <p>修整は甘い。複数プレイや拘束、薬の使用など気になる点はあるが、設定がαとΩという非現実的なもので、ストーリーもその延長線上と考えれば許容範囲。保留。</p> <p>全体的に性交シーンが有る。薬を使っているが、架空の性の話であり、抑制するためのものであり、人格否定という内容では無い。指定非該当。</p> <p>性器の消しの甘さはあるが、卑わい感は感じない。単純にストーリーの切り口や展開が面白いと思った。薬物等登場するが、話の中での前提なので問題はないと思う。暴力や人格否定も無い。指定非該当。</p>